

事業者向け放課後等デイサービス
自己評価表
(2019年度)

	チェック項目	○	△	×	改善目標、工夫している点など
環境 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				
関係 機関 や保 護者 との 連携 関係 機関 や保 護者 との 連携	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10 子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11 活動プログラム立案をチームで行っているか	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービスの支援を行っているか	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等ディサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			千葉放課後連・全障研・遊育支援研究会
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			光の子児童センター
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			山武地区親の会と連携している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			「貝がらつうしん」
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所内での活用にとどまっている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	

マナの家 2019 年度
放課後等デイサービス保護者アンケート

集計結果 I

		チェック項目	○	?	×	ご意見
環境 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	6	1	スペースが狭いと感じる。 温かみのある建物に安心
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	4		職員の人数が不明、名前写真の掲示があるとよい。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	4		
適切 な 支 援 の 提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	11			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11			季節行事、様々な体験がありうれしい。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	1		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11			息子にとって何が大切でどんな方法があるのか等寄り添っていただいています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	5	4	年に一度は保護者会があっても良い。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	5		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	1		Facebook や施設だよりの写真は子どもたちの素直な表情が写っていて様子がよくわかり安心。文章内容はとても勉強になります。
	⑭	個人情報に十分注意しているか		2		
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか		3		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		5		

満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	11			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	11			子どもたちひとり一人を大切思っ下さることが伝わってきます。感謝です。

集計結果Ⅱ ～アンケート結果の考察と対応～

○登録者 25 人中回答 11 名が回答

○個別評価への対応

①基準のスペースを確保していますが施設整備費を確保したうえで室内空間の拡充に努めてまいります。

②職員の顔写真などの掲示については開設当初から事業所内正面玄関に掲示しているので、周知を図ります。

③可能ならば非の打ち所の無い完璧な設備環境の中で子どもたちを受け入れられるよう改修整備してゆきたいと思っておりますが、放課後等デイサービスに許されている原資をどこに資本注入することが子どもたちの自立につながる発達支援にとって最良なのかについて現実的な理解も求めてゆかなければなりません。こうした中でも個別に必要なケースに対しては環境整備を進めてまいります。

⑥当法人が経営している放課後児童クラブや地元の学童保育などとの共同プログラムを夏休みなどに行っており今年度は夏休みに体験型ワークショップを開催しました。また小中学生の普通学級の子どもたちのボランティアと遊ぶ機会も可能な限り作っているところですので、施設だよりなどで発信周知を図ります。

⑧発達相談には随時受応じており定期面談時には学齢期の児童の発達課題について緻密な分析と説明に努めているところですが当事業所では発達保障の階層段階理論に基づいた支援を行っているためもう少し平易に説明できるよう努めてまいります。

⑩最も改善要求が多かった保護者会の開催については、失礼ながら当方としては積極的にやらない方向で考えています。現在の障害児の福祉制度は公立の子ども園や学校とは違い個別給付でしかも自由市場となっていることから、こうした中で保護者同士のつながりを形成することには、プラスとマイナス面の両方があると考えています。また公立施設のような潤沢な予算が保障されているわけではないので内容のある保護者連携の場の提供につながるような会合を企画委運営できるのかどうか、またそこで上がってきた課題についてどこまで現実的な対処が金銭面も含めて可能なのかを考えると、寧ろ保護者会が利用者をつなぎ留めて企業の利益を保障するための翼賛組織のようになってしまうことも考えられますし、様々な保護者同士のトラブルにもつながってしまうのではないかと考えています。誰もが気軽に利用しやすく、自由でまた保護者や子どもたちの希望があれば他のデイサービスに移りやすい空気も合わせて大切にしたいと思っております。自由競争にさらされて子どもたちを営利事業者が取り合う寡頭競争が放課後等デイサービスの現場を混乱させている現状の中で、子どもたちや保護者の最善の利益を考えた時に、どのような保護者連携の在り方が求められるのか、今回アンケートで伺った保護者のご意向を大切に、このことは地域自立支援協議会に議案として挙げてゆきます。一事業所のステークホルダーではなく事業所を越えたもう少しパブリックな場での保護者連携を図り、保護者のニーズと子どもたちのニーズと地域のニーズ、そして専門職としての発達支援に携わる者の見解が客観的に行政も含めた地域ですり合わされることで真の課題抽出と課題解決を図ってまいります。またマナの家の個別の対応としては以前から保護者同士の情報交換の場を作ってほしいという声を伺っているので、今年度はスポット的に地域で活躍している障害児保育の学識経験者を囲んでの子育てサークルを開催する予定です。

⑪迅速に苦情に対応できるようさらに努めてまいります。

⑬自己評価の結果を毎月発行している施設だよりで発信してまいります。

⑭再度徹底するよう全職員に伝達します。

⑮緊急時対応マニュアルについて現在策定しているものに加えて保護者向けマニュアルを策定して周知します。

⑯津波避難訓練 10/30 火災避難訓練 12/19、1/30、2/20（消防署立ち合い）と計四回行ってまいりますので実績の周知を図ります。